



よ坊さんだより

▼42▲

歯を治そうと思って歯科
医院を受診したら、歯科医
師から「抜歯した方がいい
ですね」と言われてしまっ
た。さて、なぜ抜歯をしな
いといけないのでしょうか？

我々歯科医師が抜歯と判
断するのはさまざまなケー
スがあります。生え変わり
の時期になってもなかなか
抜けない乳歯、重度の歯周
病にかかった歯やむし歯、

突発的な外傷などで割れた
歯、かみ合わせに関与して
いない親知らずなど、いろ

痛くないのになぜ抜歯？

いろいろあります。

これら全てに共通してい

る抜歯理由としては、その
歯が自分自身にとって食べ
物をかむための機能を果た
せていないことが挙げられ

ます。具体的にはグラグラ
に揺れている場合やむし歯
で崩壊している歯は、食べ
る時に痛くてたまらない、
かめないという状態になり
ます。また、痛くて食べら

するために必要な源とい
うのは、しっかりかんで食べ
るということです。かむた
めの機能や役割を果たせな
くなった場合の歯は抜歯が
必要になるのです。

れないだけでなく、場合に
よっては、ほっぺたが腫れ
たり熱を持ったり、全身に

歯を残すことによって、
生活の質を落としてしまう
ような場合は抜歯を行い、
食物をしっかりと食べられ

悪い影響を及ぼすことさえ
あります。

そういう自分の体に負担
になるような歯を残すこと
が本当に必要なものでしょ
うか。健康で元気な体を維持

科医師に十分相談し、適切
な治療法を考えましょう。

（京都府歯科医師会 広
報室員 堂東亮輔）
＊「よ坊さん」は日本歯
科医師会のイメージキャラ
クターです。